

EARTH SUMMIT

(United Nations Conference on Environment and Development)

地球サミット

(環境と開発に関する国連会議)



地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨など、地球環境は年々悪化。もはやひとつの国の問題ではなく、すべての国々・人々が協力しなければ、解決できない問題となっている。

こうした中、1992年6月3日から14日にわたって、ブラジルのリオデジャネイロで『地球サミット』が開催された。ストックホルムで行われた『国連人間環境会議』から20年目に開催されたこの会議には、175カ国から政府、国連機関が集まり今世紀最大の国際会議となった。

会議の目的は、地球環境の保護に新しい秩序を作っていくというもの。環境問題は、森林の伐採を中止するとか、開発を止めればいいといった単純なことではない。貧しい人々は、生き延びるために、これまで耕さなかった森や高地を耕し、牧畜を行い、燃料用の木を伐採する。さらに貧しい人々がやってきて、奥地へ奥地へと開拓していく。しかし無理な伐採や焼き畑が、森林を消したり、砂漠化を起こしていく…環境問題は、こうした貧困にあえぐ人々に手をさしのべ、彼らも環境を守る努力に参加してもらうことが大切である。こうした“南側”を救済するために、地球環境をいま以上に破壊しない範囲内で生活を向上されていくという「持続可能な開発」を会議の理念とした。

会議では、活発に提案を行った各国のNGO（非政府組織）の主張も加えて、リオデジャネイロ宣言、アジェンダ21、森林原則声明が採択され、生物多様性条約と気候変動枠組み条約（温暖化防止条約）を調印。私たちの家—地球を守るための本格的な取組みが動き始めた。



● 地球環境を守るための基本理念 ●

環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言

● 基本理念の実行計画 ●
アジェンダ21

持続可能な開発委員会

温暖化防止条約

生物多様性条約

森林原則声明